

# ドロップネット ボス 125 にトライ！！

今回は新商品ドロップネット ボス 125 に挑戦しました。

11 インチなら 70～80 個できちゃうお手軽バルーンドロップ！  
是非みなさんも参考にしてくださいね！



セットには、ネット（仕掛けが波縫いかチェーンステッチで編みこまれています）、仕掛けの編み方の説明書、トワインロープが入っています。



左が今回ご紹介するドロップネット（ボス 125）  
右が従来品ドロップネット（ボス 500/ ボス 1000）  
です。写真を見ても分かりますが、こんなにコンパクトです！！



ちなみに、折りたたむときにはコツが必要です♪

足で手前をふみ、そらせながらくりっとまわすと、魔法のように小さくなります。



さっそく始めましょう！  
片方の輪っかにファスナーがついています。  
ここからバルーンを入れます。  
ネットの輪の直径は約 60cm です。



ここで作業が早くすすむポイントをご紹介します！  
ブロアーを横に寝かせて使用します。  
ブロアーでバルーンに空気をいれ、  
そのまま風のにのせてバルーンをネットの中へ  
送り込みます。



どんどんバルーンを送り込みます！  
今回は 11 インチを使用し、全部で 70 ~ 80 個  
入りました。  
9 インチなら 125 個程度入ります。  
ネットの長さは 4.2 メートル。  
発表会やステージで、お気軽に使って頂ける  
サイズです ♪♪



バルーン入れ込み完了！



つづいて、ネットをつるします。  
今回はスペースの関係で、マグムーバーを使用しました。



仕掛けをしたネットは、本番までマスキングテープ  
などでとめておきます。  
(ドロップさせる時はテープを外します)  
※ここではチェーンステッチの仕掛け編みを  
しています。編み方の種類については  
次のページをご覧ください。



完成！



ひもをひっぱると・・・ドロップ成功！  
お手軽サイズで感動のドロップ演出ができます♪  
また、ドロップネットボス 500、ドロップネット  
ボス 1000 も同じ要領で作業できます。



# 仕掛けの紐、ドロップの図

## チェーンステッチ



紐を引っ張ると、引っ張ったほうからドロップします。

引っ張るまではマスキングテープなどでとめておいてください。

★編み方について、詳しくは説明書をご覧ください。



## 波縫い



付属のトウィンロープを使ってください。

編みこんだあと、両側に長くたらししておけば抜ける心配はさほどありません。

紐を引っ張ると、引っ張った方の反対側からドロップします。

